

静岡県議会レポート

県庁内 控室 静岡市葵区追手町9-6 TEL054-221-3510
 浜松市中央区入野町9860-1 TEL053-440-7100

浜松市中央区 田口 章



幸福度日本一に向け地域経営にチャレンジ!

静岡県議会2月定例会は2/17から3/16まで開催されました。過去最大となる令和8年度当初予算などを議決したほか、「2040基本指針」「中期財政計画工程表」「定員適正化計画」などが議論されました。私からは、行政経営だけでなく、静岡県全体の“地域経営”が重要と意見を述べました。

令和8年度一般会計当初予算

令和8年度一般会計当初予算は+3.0%の1兆4,141億円(前年度比+418億円)と過去最大になりました。

県サイトに詳しい資料が出ていますのでQRコードからご覧ください。

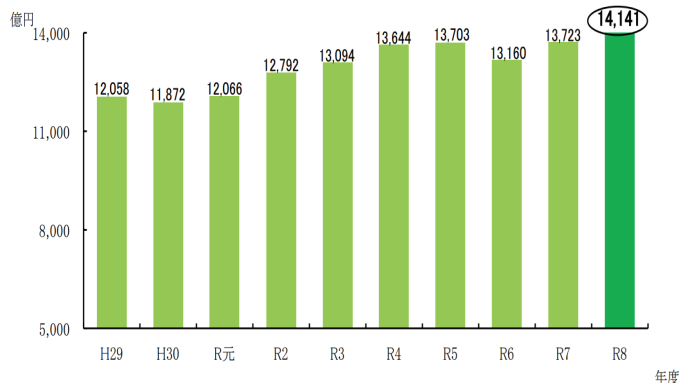


○歳入

県税収入は+1.1%の5,420億円(+60億円)。県税の中心となる法人二税は、企業収益の増により+140億円。個人県民税+53億円、地方消費税+72億円など堅調に増えています。

一方、軽油引取税の暫定税率廃止や自動車税環境性能割の廃止により▲230億円の減収が見込まれています。減収分は国が責任をもって補てんするとされており交付金で措置される見込みです。

◎当初予算額の推移(一般会計)



地方交付税は+15%の2,135億円(+278億円)。地方財政対策として「地域未来基金」の創設原資120億円が大幅に増えています。

また臨時財政対策債の発行はゼロとなります。県債は▲13.6%の840億円(▲132億円)と減っています。

○歳出

義務的経費は+4.8%の6,904億円(+319億円)。人件費(+147億円)、社会保障関係費(+99億円)、公債費(+76億円)など財政の硬直化が止まりません。

投資的経費は▲6.8%の1,828億円(▲133億円)。一見減って見えますが、補正予算で335億円計上しており総額は確保しています。

事業は新たに策定した総合計画「しずおかウェルビーイングプラン」に基づき組み立てられています(裏面)。

○県債残高

令和7年度末⇒令和8年度末の県債残高は次のとおり見込んでいます。

通常債1兆6,196億円⇒1兆5,960億円 ▲236億円
 臨時財政対策債1兆339億円⇒9,706億円 ▲633億円

○資金手当債

近年の“自転車操業”を象徴する資金手当債(赤字地方債)の発行は、令和6年度70億円⇒令和7年度80億円⇒令和8年度50億円を見込んでいます。自転車操業は続きます。一層の歳入・歳出の見直しが必要です。

令和7年度補正予算

①先議分

国の補正予算に呼応し、12月定例会ですでに170億円の補正予算を組んでいましたが、さらに今回582億円を物価高・国土強靱化対策として計上しました。早期の事業実施に向け2/17の開会日に可決しました。

②通常審査分

税収や地方交付税の上振れに伴い、基金の取崩しが▲364億円減りました。昨年度当初はトランプ関税の影響による減収が懸念されていましたが、結果的に本県経済への影響は思ったほどなく、財政悪化は軽減されました。一方、今年度も中東情勢など予断を許さぬ状況が続きます。引き続き財政健全化への努力が求められます。

しずおかウェルビーイングプラン

県は新総合計画「しずおかウェルビーイングプラン」を公表しました。「1未来を創る力」、「2豊かな暮らし」、「3県民の安心」をベースに、細目として「1-1 産業、1-2 環境・エネルギー、1-3 観光・交流・インフラ」、「2-1 こども・教育、2-2 健康福祉、2-3 暮らし・文化」、「3-1 防災・安全」を掲げています。

またこれらの政策を支える土台に「行政経営」を据えました。

私からは、わかりやすい情報発信と進捗評価を求めました。



【静岡県総合計画】

2040基本指針

2040年、人口312万人の静岡県を想定し、医療や介護、交通やインフラなど12の政策分野の将来像を描き、バックカastingによる政策推進の方向性を示しました。



【2040 基本指針】

中期財政計画工程表

今後の行財政改革の目標として、令和10年度までに「資金手当債の発行ゼロ」、「通常債残高300億円削減」を掲げ、令和16年度には「通常債残高を令和6年度比で1000億円削減」「財政調整用基金残高500億円確保」としています。

実現に向けた具体的取組として、「人件費」「ファシリティマネジメント(FM)」「投資的経費」「その他」の4区分を設定。FMでは令和8年度中に193の県有施設についてあり方の方向性を公表するとしました。

定員適正化計画

今後の人口減少を見据え、県は職員適正化の目標を示しました。職員が減っても、事業の見直しやデジタル技術の活用、官民連携、組織運営体制の再構築などにより、行政サービスの水準は維持・向上するとしています。(R7⇒R10⇒R22)

○知事部局

6,053⇒6,003⇒5,453(▲600人、▲10%)

○教育委員会

19,347⇒18,847⇒15,347(▲4,000人、▲20.7%)

遠州灘海浜公園(篠原地区)整備の方向性

康友知事は本会議の答弁で、篠原地区で整備を計画している野球場について、行政負担については草薙球場相当、民間投資の検討期限を令和10年度末までにするとの方針を示しました。現在、県と浜松市の間で協議会が進められていますが、民間事業者との連携を急ぐ必要があります。

FM Haro! 76.1MHz

KENGI DE Night (県議でナイト)

月・木の夜、FM Haroで県政のホットな話題をお届けしています。担当するのは県西部の会派メンバー8人。私は毎月第4月曜日19:30-20:00を担当しています。お聴きくださいね。



創ろう!元気な浜松&静岡県

田口章は持ち前のフットワークで、元気いっぱい活動しています。日常の活動は、ホームページやブログでも報告しています。インターネットがご利用できる方はぜひご覧ください。



田口章 で 検索